

水銀灯使用に関する正しい認識について

水銀灯及び蛍光灯に関する注意喚起

このような営業に注意してください。

- ①2020年に水銀灯が使用出来なくなるため、早い段階でLED化をしなければならない
- ②水銀灯の生産を中止しているため、LED化に切り替えなければならない
- ③蛍光灯が生産中止になるため今使用している蛍光灯器具は使用出来なくなる

水銀灯に関する正しい情報はこちら

「水俣条約（別称：水銀条約）」の締結

水銀に関する水俣条約とは、水銀の一次採掘から貿易、水銀添加製品や製造工程での水銀利用、大気への排出や水・土壌への放出、水銀廃棄物に至るまで、水銀が人の健康や環境に与えるリスクを低減するための包括的な規制を定める条約です。平成25年10月に熊本県で開催された外交会議で、採択・署名が行われました。本条約は、50番目の国が締結した日から90日後に発効予定となっています。

一般社団法人日本照明工業会 発表

【現時点における国内市販ランプへの影響について】

- I 一般照明用の高圧水銀ランプ(HPMV)を除き、現在市販されている蛍光灯やHIDランプなどの水銀使用ランプのほとんどは、すでに水銀封入量の条約基準をクリアするなど規制対象にはなりませんので、製造、輸出又は輸入の禁止期限（2017年）以降も継続して購入・使用いただけます。
- II 一般照明用の高圧水銀ランプ（HPMV）につきましては、水銀封入量に関係なく、製造、輸出又は輸入の禁止期限は2020年になりますので、メタルハイドランプやLED照明などへの計画的な切り替えが必要です。

◎ **交換が必要なもの** **水銀灯**

◎ **交換しなくてもよい** **HID・メタルハイド**

※但し、蛍光灯やメタルハイドランプ製造メーカーもLEDへの交換を推奨しており、順次製造中止になると思われます。

※蛍光灯は水銀含有率が一定量に満たないため「水俣条約」には該当しませんが、一定基準の性能を満たさないという理由で2020年を目途に製造及び輸出入の禁止の方向に進んでおります

水銀ランプは在庫がある限り今後も使用は可能です。

- ・製造業者・輸出入業者に関する規制であり、**使用者に関する規制ではありません**
- ・既に水銀灯の製造を中止しているメーカーはあります
- ・2020年の製造禁止・輸出入禁止に近づくとつれ産廃処分場の受け入れに時間がかかることが予想されます

LED照明をご検討の際は既存の使用環境を考慮することが重要です

1. ○○W代替だけで製品の選定を行わないでください
2. 職場の環境に応じた明るさや照射範囲を検討してください
3. 製品の保証内容をご確認ください

使用環境に応じたベストなご提案

工場・ガソリンスタンドLED照明

業界最高クラスのLED照明

明るく節電
作業効率UP

粉塵や水に強い
LED照明

虫が寄り付き
にくい

長寿命設計
50,000時間

【導入実績】

工場（水銀灯）天井高さ12m



(LED照明導入後)



ガソリンスタンド（水銀灯）天井高さ5.2m



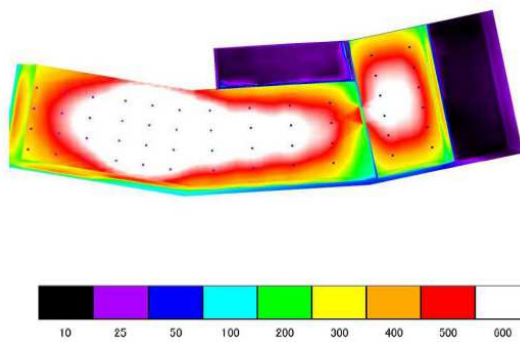
(LED照明導入後)



ご提示可能な資料について

電気料金シミュレーション

照度シミュレーション



その他
ご要望資料

- ・御見積書
- ・仕様書
- ・実績写真
- ・パンフレット
など

既存照明の代替品の提案ではなく、お客様のご要望に沿った提案をさせていただきます。

明るさが欲しい、照明を追加したい、移設したいなどありましたらお知らせください。

【お問い合わせ】